

しせいがい

新春号

vol.64
2013.1

医療法人社団志誠会



Contents

- 2013年新しい年によせて……………2
- ケントミファミリーが演奏を披露●第20回陽光館敬老会……………3
- 精神科の窓……………4
- 第35回家族教室……………5
- デイケアセンター陽光館……………6
- ありんくりん●地域だより……………7

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>

二〇一三年 新しい年によせて

医療法人社団志誠会 理事長 小渡 敬



平成二十五年の新春を迎えるにあたり
皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は長引く不況と政治の無策で閉塞的な状況の中、年末に突然解散となり衆議院選挙が行われました。結果は自由民主党が大勝し、安倍晋三内閣総理大臣が誕生しました。早くデフレを解消し経済を再建し、さらに震災の復興を加速することを願っています。

沖縄県では、昨年復帰四十周年を迎えた節目の年でありました。県では将来のあるべき沖縄の姿を描くために「沖縄21世紀ビジョン」を策定しております。さらに沖縄振興一括交付金も認められ、これからの発展に期待が持てると思われます。

医療界では昨年は明るい話題として、京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。再生医療に道を拓く最先端の研究がわが国の医師によって行われることは、日本の医療人として大きな誇りであります。しかし一方では、昨年8月に社会保障・税一体改革関連法が成立したことにより、今後、消費税が10%引き上げられることとなります。医療費は非課税であります。医療機関では「控除対象外消費税」を負担しているため、これが問題になっております。さらに医療に関するTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題などが山積しております。平和病院は昨年、二十五周年を迎えることができました。これもひとえに関係機関や地域の皆様のご協力によるものと考えております。これからも地域に貢献できるよう努力をしたいと考えております。今年も変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「志合せ・仕合せ・倖せを音にのせて届けます」

～ケントミファミリーが陽光館で演奏を披露～

12月12日(水)陽光館第2生活棟で、「ケントミファミリー」バンドが演奏を披露しました。入所者家族の一人がバンドメンバーの一員であったことで、今回の演奏へと繋がりました。ケントミファミリーは10年前に結成され、現在は、中学生を含む、脊髄損傷、ダウン症、ALS患者等、総勢20名程の方がバンドメンバーとして所属し、県内各地の小中学校、老人デイサービス、福祉施設等で幅広く活躍されています。

今回はドラム・三線・ギター・ハーモニカに手話も交えて「ていんさぐぬ花」「安里屋ユンタ」オリジナル曲の「仕合せのウムイ唄」「だいしょうぶよ～」等の曲を披露しました。入所者とデイケアの利用者62名の方が参加され、曲に合わせて踊ったり、感激して涙を流す方もありました。みなさんからは「よかった。感激した。」「私こういうの大好き、ドキドキしたヨ。」などの感想がありました。

バンドの代表者であり、特定非営利活動法人サポートセンター「ケントミ」の代表理事でもある我如古盛健さんは、「手足が動かなければ、歌やハーモニカを吹けばいいし、歌ができなければ、手話やダンスをすればいい。障がいがあってもできることは必ずある。自分ができることをやればいい」と話し、今後も障がい者本人やその家族が安心して楽しく暮らせる地域づくりや地域の活性化を目指して「ケントミ」を拠点に活動を展開していきたいと話されていました。



第20回陽光館敬老会

家族と楽しんだ敬老会

11月10日(土)に第20回敬老会が開催されました。陽光館の敬老会は、例年庭園で行われていますが、今年は台風の当たり年で、敬老会当日も台風接近により天候が不安定だったため、庭園での開催を断念し、コミュニティーホールに会場を移して開催しました。

当日は、施設入所者、通所者、あおば邸入所者、計169名が参加されました。陽光館施設長の開会の挨拶のあと、具志川東中学校上江洲地区生徒会の多嘉良桃子さんの「かぎやで風」で幕開けが行われ、そのあと松含流の仲本ひろみさんによる舞踊と永山太鼓塾・鼓楽響成(こうらくきょうせい)の鉢嶺英里奈さん他4名による和太鼓の余興が披露され、会場を盛り上げて頂きました。

余興終了後の食事会では、大勢のご家族に囲まれ、楽しそうに談笑していました。参加された入所者からは「雨が降って残念、庭園で行えばもっと気持ちよかったのに」「大勢の家族と食事を取りながらたくさん話しができてよかった」との声がありました。





統合失調症と心理教育

統合失調症の治療のひとつに心理教育があります。あまり聞き慣れないかもしれませんが、お薬による治療とともに療養生活の上ではとても重要な役割を果たす、患者さんを支援するための治療プログラムのことです。今回は皆さんに心理教育についてわかりやすく説明するとともに、当院で取り組んでいる心理教育のプログラムについてご紹介したいと思います。



やまぐち ようすけ

山口 洋介 医師

心理教育について

一言で「心理教育」あるいは「支援するための治療プログラム」と言っても、どのようなことが行われていると皆さんは思われるでしょうか。もしかしたら、「心理」「教育」といった言葉を見て、一方的に知識を植え付けられるようなイメージを思い描くかもしれません。

ところで統合失調症という心の病気は、患者さん自身が病気であることをなかなか自覚できないのが特徴です。糖尿病や高血圧などの身体的な慢性疾患でさえ、病気を自覚して継続して治療を続けられない患者さんも多いといわれます。病気を自覚しにくい統合失調症の患者さんが、病気や治療について正しく理解し、前向きに病気と向き合えるようになるためにはどうしたらよいでしょうか。心理教育のプログラムは、そうした患者さんやその家族が積極的に治療に臨めるように、ひとりもしくは数人のグループに対して心理面を十分に配慮しながら情報を提供する場なのです。

心理教育を通じて患者さんが病識を獲得し、病気の再発の予防やデイケア、作業所などのリハビリテーションを積極的に行え、自分らしくいきいきとした生活ができるようになることが、心理教育の最終目標といえるでしょう。

当院で行われている心理教育のプログラム

療養者セミナー

当院では、主に急性期病棟に入院し急性期の病状を脱した統合失調症の方々を対象に、医師、看護師、臨床心理士、作業療法士が協力して療養者セミナーを行っています。

療養者セミナーでは、参加した患者さんと約1時間のセッションを3回行います。3回のセッションはそれぞれ「入院前の状態について」「症状・薬について」「今後の生活について」といった内容です。

1回目のセッションでは、入院前の苦しかった状態や症状について参加者の皆さんに振り返っていただきます。2回目のセッションでは、統合失調症とはどのような病気なのか、またお薬の大切さについて、医師から参加者の皆さんに説明することによって病気や治療の必要性の理解を深めていただきます。そして3回目のセッションでは、病状の再発を予防するためのアドバイスや自立した生活のためのヒントやコツを皆さんと一緒に考えます。

どのセッションも病気や治療に関する知識を一方的に発信するのではなく、参加者の皆さんの体験や意見などもうかがいながら進行していきます。セミナー終了後の参加者の皆さんからは、「苦しいのは自分だけではないんだ」「薬を続けて内服する大切さがわかった」「病状悪化のときの症状がよくわかったので、今後はなるべく早く対処できると思う」などの感想が多く聞かれます。

家族セミナー

統合失調症の治療においては、家族の理解と協力が必要不可欠です。しかしながら、統合失調症の患者さんは発症からとても苦しい思いをされるのですが、同時に家族の方々も苦しい思いをされます。家族の一員である患者さんとうどう向き合えばよいのか、病気をどのように受け入れればよいのか、ご家族の心配やご苦労は絶えないと思います。

当院では、入院患者さんのご家族に対しても定期的に家族セミナーを行い、医療者による病気の説明だけではなく、ご家族同士で心配事や苦労話を話し合う交流の場とさせていただいています。同じような悩みを共感することで、「辛いのはわが家だけではないんだ」と安堵されるご家族も多いようです。

とくに患者さんに対する家族の激しい感情表出(EE: Expressed Emotion)は、病気の再発に影響を及ぼすと考えられており、患者さんとの付き合い方にもコツがいるようです。家族セミナーでは、家庭内での患者さんとの接し方についてもご家族と一緒に考えていきます。



第35回 家族教室開催

12月1日(土)、第35回家族教室を開催しました。

今回は、就労訓練利用に至る手続きの説明や実際の就労場面の見学を行いました。雨の中の見学になりましたが、農場「グリーンファーム」のビニールハウス内での軽石水耕栽培、パン工場「スターベーカリー」、食品加工工場「オレンジワークス」を見学しました。参加されたご家族の中には、娘さんの就労を考え就労継続B型の事業所を開所した方もおられ、参考にしたいと話されていました。別のご家族からは、「オレンジワークス」の商品である「こーれーぐーす」の原料の島唐辛子について、自宅の畑で栽培したものを使ってもらえないかとの意見も出ました。



見学後の懇親会は喫茶店ガーデンクロスで行い、和やかな雰囲気の中、ご家族同士交流されていました。中には、県外から引っ越してきたばかりで知り合いも少ないため参加されたというお母さんもいらっしゃいました。



家族会は来年度より多くの方が参加しやすいよう、運営方法を見直す予定です。患者さんのご両親、ご兄弟、配偶者やお子さんたち、また治療歴の短い方、長い方、病気の種別など様々な状況にあるご家族が交流でき、「ほっ」と一息つける場になればと考えています。次回は今年春の開催になります。ぜひご参加下さい。

デイケアセンター 陽光館

～生き生き介護予防～

デイケアセンター陽光館で行っている介護予防運動は、自信を持って動ける身体作りを目標に、筋力・バランス・柔軟性・瞬発力などの機能を組み合わせ、日常生活で行う動作からリズムに合わせた動作まで楽しく続けられる運動プログラムを実践中です。また、脳活性化プログラムでは「できないことがいい」「間違えても上等」を合言葉に認知症予防はもちろんストレス緩和、爽快感アップ、うつ病予防などにも効果があるプログラムをみんなで楽しみながら取り組んでいます。

利用者からの声も「最初は、きつかったよ～今は体が軽くなって楽しみだね～」「みんなでやるから頑張れるよ～」と変化し仲間意識やリハビリに対する向上心も高まっています。

要支援の方だけでなく要介護の方も対象としています。デイケアセンター陽光館で運動嫌いを返上し、元気に過ごすきっかけづくりを目指しませんか!!



① 自分の体重やゴムバンド、バランスパッドを利用した筋力およびバランストレーニング



② リズムや音楽のテンポに合わせた動き



③ 日常生活動作を取り入れた機能的トレーニング
(立ち上がり・しゃがみ動作など)



④ 認知予防のための脳活性化プログラム

この冬の

ありんくりん



平成24年度永年勤続医療従事者表彰 9名の職員が表彰

11月22日(木)、ロワジュールホテル那覇において沖縄県医師会主催 平成24年度永年勤続医療従事者表彰授与式が行われました。

同表彰は、同一医療機関、施設に20年以上勤務された医療従事者に対して行なわれるもので、今回、平和病院4名、陽光館5名の職員が長年にわたり施設の発展に貢献した功績を評価され表彰されました。

今後も若手職員のお手本となるよう更なる活躍を期待しています。



【平和病院】

宮城妙子(看護課長)
国吉 薫(外来看護課長)
新垣愛子(看護主任)
仲松龍次(看護補助)

【陽光館】

大城 恵(相談課長)
照屋香代子(介護福祉士)
仲本ツル子(介護福祉士)
横田由美子(介護福祉士)
松田 香(デイケア主任)

スターベーカリー、中部病院祭へ出店

12月1日(土)、中部病院祭へスターベーカリーが出店しました。約8年ぶりの外部販売であり、不安と期待のある一日でした。「全員で販売する!お客様にスターベーカリーを知ってもらう機会にする!!」という目標を掲げ、売上目標も設定しました。個性的な接客方法で、お客様達の購買意欲をかきたてる訓練生の魅力的な姿に、職員が感動してしまいました。事前に訓練生への意識付けを行った結果、ほぼ完売で終了することが出来ました。

工場に戻ってきた訓練生からは「楽しかった。」「こういう工夫をして売った。隣の商品も気になった。」「たまには外にでて売るのもいい。」など前向きな言葉が数多く聞かれ、指導員からも「販売後、訓練生の表情がイキイキとしていた。」と嬉しい報告もありました。訓練生にとって、自信に繋がる経験ができたと思います。



東ティモールの子供達と交流

当院の小渡皐月先生の旧知の友であるソプラノ歌手の宮良多鶴子さんは、東ティモールの子供達の救援活動を10年以上継続して取り組んでいます。

今回、東ティモールの子ども達や先生方が来沖し、沖縄の子ども達と交流するとのことで、微力ながら、11月23日(金)志誠会の福利厚生施設まほろばの提供とスターベーカリーのパン100個を差し入れました。



情報ポケット ～入局しました～



やました けいいち

山下 圭一 医師

11月より平和病院で働かせて頂くことになった山下です。

今泉先生に引続きさわ病院からこちらに来ることとなりました。1年間と短い期間ではありますが少しでも皆さんの役に立てればと思います。

良かったら沖縄の事に関して色々教えてください。皆さん、どうぞよろしくお願い致します。

地域だより

11月25日(日)、毎年恒例の「上江洲区民グラウンドゴルフ大会」が平和病院グラウンドにて開催されました。

今回は、公民館建設にむけての建設資金造成チャリティーグラウンドゴルフ大会に名称を変えて行われましたが、例年と変わらず小学生からおじいちゃん、おばあちゃんまで3世代にわたる大勢の区民が参加されていました。当日は天気も良く、グラウンド内では、あちこちでボールを叩く音と楽しそうな笑い声が響きわたり、会場は和やかな雰囲気包まれていました。





精神科・心療内科・内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 急性期治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイケア ☐ 精神科デイ・ナイトケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00

日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）

電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ うるま市高齢者相談センター具志川ひがし

受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館

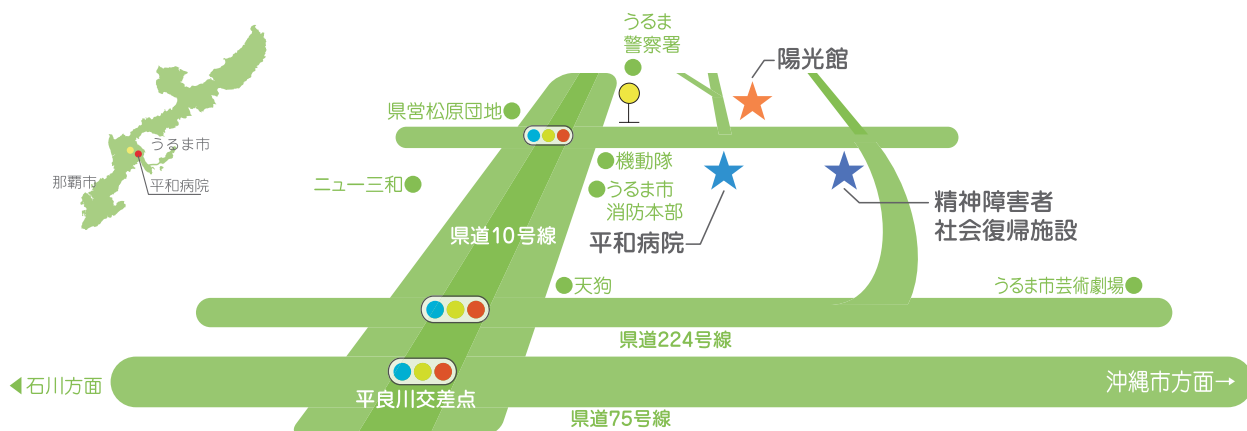
電話：098-974-4000 住所：うるま市字上江洲661番地



精神障害者社会復帰施設

☐ 一葉邸・二葉邸（グループホーム）
☐ 自立訓練事業所しせいがい（宿泊型自立訓練・生活訓練）
☐ 就労訓練工場しせいがい（多機能型）（就労移行支援・就労継続支援B型）

各施設へのアクセス



編集後記

新年 あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

昨年平和病院は、創立25周年を迎え25周年記念誌を発刊しました。平和病院は基より陽光館、社会復帰施設も加わり、20周年から25周年に至る5年間を振り返り、今後の展望について207ページにわたりギッシリと書き記されています。計画あつての振り返りであり、振り返りあつての展望だと思い、昨年の編集後記では「一年の計は元旦にあり」と計画を立てて物事を行うことが、いかに大切であるかを記述しました。が、私同様、思うような結果が出せなかった方も多いのではないのでしょうか？今年では発想を少しだけ転換して「笑う門には福来たる」で、楽しんで仕事ができるような一年になればいいと思います（その方が効率が良かったりして）。

伊藝 正